

# 「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【岩槻区】

## 〈開催概要〉

日 時：令和3年11月9日（火） 18：30～20：00

会 場：岩槻駅東口コミュニティセンター 4階 多目的ルームA・B

参加者：14名（傍聴者0名）

市出席者：市長、都市経営戦略部

事務局：市長公室広聴課

開催テーマ：将来を見据え、さいたま市のまちづくりや市役所移転について考えよう

### 参加者との意見交換

#### ●参加者

##### 〈発言1〉

2006年に岩槻に引っ越してきました。当時、引っ越してきてびっくりしたのは、人形のまちと言いながら、道端にごみが多く捨てられていたということです。合併してしばらくすると、まちがきれいになりました。市の職員が掃除をしているというよりは、住んでいる人の意識が変わってきたのだと思うのですが、この10年で本当にまちはきれいになったなと思います。さいたま市誕生20周年ということですが、市がますますよくなることを祈念しています。

さいたま市は道が細いですから、新都心の方に新庁舎ができて、市民のアクセスがよくなるのは非常によいことだと思うので、是非進めていただきたいと思います。また、行政機能だけでなく、商業施設も誘致できるような形で気配りいただければと思います。

テーマ説明の中で、現庁舎地の利活用について様々な例があったのですが、私は現庁舎地については、区役所と消防署も別なところに移した方がいいと思います。あれだけ広い場所ですから、全く新しい考え方で、文化施設なら文化施設をそこにつくるというのがいいのではないかと思います。あの場所は、浦和区に住んでいる方にとっても遠いと思います。駅からも遠く、道は狭いですし、消防署も何かあったときに渋滞していると大変だと思います。ですから、いっそ現庁舎地を全部きれいにして、首都圏や全国からの集客施設をそこにつくれば、浦和自体も発展していくのではないかと思います。

南区役所や岩槻区役所など、駅のそばにもいくつか区役所がつくられています。浦和駅近くのパルコの上にコミュニティセンターなどがありますが、同じようにそこに窓口を持っていけばよいのではないかと思います。

##### 〈発言2〉

この計画は、素晴らしい理念で建てられると思うので、建設された後を楽しみにしています。

まず新庁舎についてです。8つの理念があって素晴らしいのですが、それを踏まえながら、なおかつ一言で表せる庁舎のキャッチフレーズがあれば素晴らしいと思います。例えば災害に強い庁舎とか、自分のところで完結できる庁舎、などです。災害時には電気、ガ

ス、水道が止まることもありますので、少なくとも電気、ガス、水道は自分のところで全部賄えるようなシステムを持った庁舎にしていきたいと思います。

それから、今の庁舎の跡地なのですが、すでにさいたま市全体にはいろいろな施設がありますので、今の庁舎地には文化施設などはつくり、災害のとき有効に使えるオープンスペースにしたいです。そして、通常時にはいろいろなイベントをやったり、憩いの場所として利用するといいたいです。

### <発言3>

タウンミーティングの開催が、これまでは昼間だったのが、今回は夜の開催になり、少しづつ良かったです。

新庁舎については、岩槻は少し市の中央から離れていて、用事は大体区役所で済みますので、新庁舎への期待は薄いといいますか、あまり興味を持っていません。ですから、つくるに当たっては、予算が220億円という話がありましたが、予算をできるだけ使わない方法で工夫してほしいです。

それと、アクセスについてです。岩槻から中央区にある保健所や、北部建設事務所へ行くのは結構つらいです。新都心もそれほど距離は変わらないですが、アクセスが年齢とともに厳しくなっていますので、新しい交通手段ができればもっと利便性がよくなると思います。

あとはもう一つ、私は将棋をよく指すのですが、和室の部屋が意外とありません。また学習室の予約も、申込み人数が限られてしまってあまり取れません。子どもが利用しやすい施設も必要だと思います。新庁舎、現庁舎地にはそういう機能を入れていただきたいです。

### <発言4>

まず、新庁舎なのですが、私は地味な庁舎を望んでいます。大企業でも、非常に地味な本社で見事に機能しているところもあります。新庁舎は、昔の人が考えるような大きくて立派な建物やきらびやかさをひけらかせるようなところではなくて、機能最優先のものを希望したいと思います。

それから、一番の問題は、中で働く職員です。庁舎がいくら立派でも、職員の質がよくないようでは困りますので、職員が学習できる機能を中につくってもいいのではないかと思います。働く職員はさすがだなと思われるようにならないといけなと思っています。

それから、古い庁舎の跡地なのですが、市民の集いの場として、60歳、65歳を過ぎリタイアした方々が再デビューできるような、スポーツとかカルチャーなど何でも学べるような場所を確保していただければいいのではないかと思います。

### <発言5>

岩槻に生まれ育って、今もここで暮らしていますが、浦和はとても通い慣れた場所でもあります。

東日本大震災があったとき、市役所に被災者たちがたどり着けずに、駅の周りで呆然と立ち尽くしていた姿は忘れることができません。ですので、災害に強い新庁舎を望みたいと思います。

また、国際化に伴いまして、さいたま市も幾つかの市が合併したことで、海外のたくさん市の市と姉妹・友好都市提携を結んでいます。そういったところと交流したり、また使節団がいらっしやったときに恥ずかしくない、日本の文化の代表として受け入れられるような新庁舎であればうれしいと思います。

現在の市役所に以前伺った際に、かなり狭いというイメージがありました。新庁舎については、働く方に広々と感じてほしい、未来を背負い育ててほしいと思いますので、これからの計画をどんどん進めていただけたらと思っています。

## ＜発言6＞

市役所の建替えにつきましては、老朽化が原因ならば当然のことだと思っています。場所については、敷地面積を考えるならば、もっと郊外の方が広く取れていいのかなと思いましたが、駅から近い場所に建設するのであれば、宿泊施設や商業施設等と一体的な開発を行うべきで、民間の活力を生かした整備方法がよいかと思います。費用はかかりますが、貸し出すことによって賃料収入等も期待できますので、結果的に市民の負担が減り、また利便性が増すのではないのでしょうか。特に、新都心周辺は宿泊施設が不足していると聞きます。大規模災害時にも役に立つと思います。ですので、そういった民間の活力を生かした市役所の建設を推進していただけたらと思います。でも、究極は、市役所に行かなくても済む電子市役所のようなものの確立が進めばいいと考えています。

加えて、さいたま市の将来のためには、市域の均衡な発展が大切であると考えます。岩槻区の住民としては、地下鉄7号線の延伸とそれに伴う新しいまちづくりが大切です。2030年以降は、さいたま市も人口が減少していくということが予測され、活力を維持するためには、若い人たちを継続的に呼び込む施策が必要です。浦和美園へ移り住んだ方のまちへの評価は非常に高いと聞いています。駅が開業して20年、あと10年ほどでまちづくりも一旦落ち着きます。このよい流れを維持するためにも、地下鉄の延伸と新たなまちづくりを行い、さらなる発展を願っています。

また、地震等に比較的強いとされる地下鉄は、大規模災害時の交通バックアップとしての機能も期待されています。自然豊かで、かつ利便性の高い、暮らす人にとって心地よい、ずっと住み続けたいと思う、そんなまちになってほしいと思っています。

## ◆市長

### >>発言1

新庁舎へのアクセスがよくなるのは非常によいことだというお話や、商業施設などの誘致も併せてやっていただくことで、庁舎だけではなくて、いろいろな目的を持った人たちに来ていただけるのではないかという御意見を頂戴しました。

また、現庁舎地にある区役所と消防署については別に移して、もっと広く活用した方がいいのではないかという御提案をいただきました。

### >>発言2

新庁舎については、8つの基本理念を踏まえるということは非常に重要だが、もう一つ、一言で表せるキャッチフレーズのようなものをつくったらいいのではないかという御提案と、例として、災害に強い庁舎などをあげていただきました。

新庁舎が移転する予定のさいたま新都心地区は、国の計画でも広域防災拠点という位置づけがございます。さらに、首都圏広域地方計画の中でも、首都直下地震が起こった際の首都機能のバックアップ拠点という位置づけもいただいています。私たちとしては、災害に強いという地域の特性を生かして、災害に強い庁舎をつくるということが、大変重要な視点であると認識をしています。エネルギーや電気が災害のときにも十分賄えるような庁舎という御提案もいただきましたので、そういったことも踏まえて検討していきたいと思っています。

また、現庁舎についても、災害のときに有効に活用したらどうか、普段はオープンスペースとして、憩いの場であったり、イベントをするような場として活用してはどうかという御意見を頂戴しました。

### >>発言3

新庁舎については、あまり市民が直接行くところではないので、期待は少し薄いところがあるというお話をいただきました。また、できるだけ予算を使わない形で整備をしてほ

しいという御意見をいただきました。

また、交通アクセスについては十分配慮してほしいという御意見を頂戴したところです。それ以外も、和室や子どもが利用しやすい機能の拡充に予算を使ってほしいといった御意見を頂戴しました。

#### >> 発言 4

機能性を最優先して、あまり華美なものではない方がいいのではないかという御意見でした。また、職員が自ら学習できるような機能を持った施設も必要ではないか、また、古い庁舎については、リタイアした方々が再デビューできるような場にしてほしいという御意見を頂戴しました。

現在ある市役所は11階建てなのですが、2階から11階は本庁舎の機能でして、1階の部分が区役所ということになります。新庁舎については、必要以上に大きかったり、華美なものをつくるつもりはありません。ただ、一方で機能性を重視していくことは必要だと思っていますし、またこれからデジタル化が大きく進んでくると考えていますので、そういった際に柔軟に対応できる形でないとならないのかなと思っています。

今、行政へのニーズが非常にきめ細やかになってきています。さいたま市は政令指定都市の中でも、人口当たりの職員数が少ない状況ですが、もう一方で、いろいろなニーズがあって、行政のサービスというのは人を通じている部分があるものですから、必ずしもデジタル化によって、人が減らせるという状況になるかというのは、なかなか見通しが立たないところです。ただ、今デジタル化についても、令和7年度までにほとんどの行政サービスを電子化するというので、計画を立てて進めているところです。

いずれにしても、そういった時代を十分に反映したものにしていく必要があると思いますし、特にデジタル化については、これからものすごく進んでいくことが想定されますので、そういったことを意識してやっていきたいと思っています。

#### >> 発言 5

東日本大震災の際に感じたことや、災害に強い庁舎を望むとのお話がありました。東日本大震災のとき、駅にもものすごい人があふれまして、駅から出されてしまったという状況もありましたので、駅を使っていらっしゃった方には大変御迷惑・御苦勞をおかけしたと思っています。新庁舎の役割としては、このような災害のときに有効に機能するような施設という部分がかかなり大きくなるのではないかと考えています。

それから、姉妹・友好都市との交流などを行っている中で、日本の文化やさいたま市の文化、岩槻の人形文化もその一つだと思いますが、そういったものをちゃんと発信できるようなものがよいのではないかという御提案をいただきました。

また、働く人が伸び伸びと働けるようにすべきだという御意見を頂戴しました。大変ありがたい御意見です。職員が働きやすい環境をつくることが行政の生産性を上げることに繋がって、結果的には税金も少なく済むと思っていますので、そういった面でも十分配慮していきたいと思っています。

#### >> 発言 6

できたら新庁舎は郊外の方がいいのではないかと、ただ、駅の近くにつくるとすれば、宿泊、商業施設などと複合化をしていくことで、できるだけコストを下げ、整備をしてはどうだろうかという御意見を頂戴しました。

また、その中で、電子市役所を進めてほしいという御意見を頂戴しました。これは、先ほど少し説明しましたが、さいたま市ではデジタル八策ということで、デジタル化についても強力的に進めています。単に市役所を電子化するだけではなくて、デジタル化になじみにくい年齢層の皆さんもたくさんいらっしゃいますので、そういった方にも丁寧に対応できるようなやり方をしながらデジタル化を進めていきたいと思っています。

また、併せて、地下鉄7号線の延伸の問題についてもお話がありました。テーマ説明の際には具体的に申し上げませんでしたでしたが、さいたま市は2都心4副都心という考え方で全体のまちづくりを進めています。その4副都心のうちの一つがこの岩槻駅周辺であり、同じく副都心である浦和美園との間を結んでいく地下鉄7号線の役割というのは、さいたま市のまちづくりにとっても重要ですし、また防災という視点からも大変重要な路線であると認識をしています。この2都心と4副都心をしっかりネットワーク化をしながら、さいたま市全体が発展できるようにしていくというのが私たちの基本的な考え方です。地下鉄7号線の延伸も、令和5年度中には事業者に要請をしていくということも正式に発表させていただいていますので、しっかりやっていきたいと思っています。

それから、浦和美園地区については、「スマートシティさいたまモデル」としての事業を推進していて、若い世代の皆さんが多く住んでいますし、今さいたま市の中でも人口が増えているエリアになっています。これからも持続可能な発展をしていくために、急激な右肩上がりの発展はなかなか望めないとは思っていますが、若い人たちにとって魅力あるまちづくり、また高齢者の人たちが安心して住めるまちづくりをしっかり進めていきたいと思っています。

## ●参加者

### <発言7>

庁舎の移転について、私は反対です。

平成12年の合併を推進している頃に、埼玉新聞のコラムで合併のいい悪いを盛んに書いてくれていました。そのときに、当時の市長の新藤さん、井原さん、相川さんの3人が話し合って、合併するには、大宮は商業のまち、与野は文化のまち、浦和は行政のまちとして決めようじゃないかということになって決めたのがスタートなのです。それが、合併をする中でいろいろ話が変わって、庁舎は新都心の界隈がいいということになりましたが、基本思想として、その3市がそういう姿勢で臨もうとしていることには間違いありません。

それから、現庁舎の耐震化工事ですが、平成31年に約40億円をかけて耐震化工事が完了したのですよね。それが、令和18年までしかもたない。40億円をかけてそれではおかしいと思います。テーマ説明で漏水をしているとありましたが、そういう工事当然やっているはずなので、40億円をかけて令和18年までしかもたないのであれば、これはやめた方がいいです。そのとき何で建て直しを考えなかったのですか。この使い方は絶対、第三者委員が精査すべきです。

それから、もう一つ、さいたま市はすごくお金持ちだからすごくお金の使い方にルーズなのですよね。浦和駅をこの間つくってもらいましたが、費用のうち60億円ぐらいはさいたま市が負担したらしいのです。さらに、計画がどんどん変更されているのです。ということなので、それはおかしい。これも60億円に対して、第三者委員をかけてしっかり調べるべきです。

最初にやるべきことは、地下鉄7号線の延伸です。前後が間違っていると思います。

### <発言8>

庁舎をさいたま新都心に移転するというのは、非常にいいことだと思います。さいたま新都心にはさいたまスーパーアリーナがあるのですが、例えば学会とかあるときに収容できるような国際会議場のようなところがあるとよいと思います。大宮ソニックシティにもあるのですが、現庁舎や浦和にはそういうのがありませんから、新庁舎にはそういう機能もあるといいのではないかと思います。

あとは、先ほどもお話がありましたが、市を活性化させるということを見れば、地下鉄7号線の延伸というのは、確実に必要なのではないかと思います。浦和美園は、非常に若い人たちが今増えてきています。そういう中で地下鉄が岩槻まで伸びれば、

さらに人口が増えて、若い人が増えて、まちが発展するのではないかと思うのです。また、目白大学あたりに中間駅をつくることによって、学生がそこに来て利用して、さらに発展するのではないかと考えています。

それと岩槻は、高齢化率がさいたま市の中で一番高く、30%以上ということで、高齢者の健康維持と健康寿命を延伸するために、健康ダンスというのをやっているのですが、そういうものをさらに普及していただいて、さいたま市役所においても、スポーツ文化局や保健福祉局、子ども未来局などが中心となって、市民の健康維持と健康寿命の延伸のための取組を発展していただきたいと思っています。

### <発言9>

私は、このまちで70年過ごしました。合併してさいたま市ができて、どこが一番変わったのかなと思えば、私は岩槻が一番変わったのかなと思います。私たちが生まれた頃に見た情景や周辺の建物は、今は1つも残っていません。それだけ発展をしてきた中で、岩槻も合併のときに非常に論議が起こりました。

新庁舎を建設するというお話ですが、私は結論から言いますと、基本的には賛成です。もともとさいたま市は、今から30年前に「YOU And Iプラン」、畑和知事の時代に、埼玉シティネットワーク構想というのがあったと思うのですが、これが先ほど市長がお話しした2都心4副都心構想に非常に似ていて、そのミニ版であるというような気がします。非常にこの案はいいと思います。ただ、合併して20年ですから、まだいろいろ地域の差はございますがバランスをとって、是非ともこの構想を成功させていただいて、また10年後にこのまちがよくなっているように願っています。

それと、市庁舎の周りですが、新交通システムの東西交通への導入も本気で考えた方がいいと思います。宇都宮LRTが今度開業しますが、宇都宮市にしても富山市のLRTにしても、それを求める声は非常に大きなものでした。地下鉄7号線延伸については早いうちに事業認可申請をし、協議会をつくっていただいて進めていただきたいと思っています。

### <発言10>

新庁舎の整備される予定のバスターミナル街区は大宮区にあり、大宮区は交通のまちとして発達してきたという歴史もあります。災害のときには交通網が寸断されてしまうおそれがあるので、バスターミナルのほかにレンタサイクルなど身近なものも集めて、市役所から皆さんが家に帰れるというシステムを整備してほしいなと思います。

現庁舎地の活用については、浦和はもともと学校などが有名で、学業が盛んだと聞いていますので、その学業が盛んだということ尊重しつつ、県庁も近く埼玉県と連携が図りやすい場所だと思いますので、防災の拠点として、また災害時の避難スペースとして、新庁舎と現庁舎両方の場所で、災害時のバックアップをしていただきたいなと思っています。

### <発言11>

春日部市でも同じように市役所の移転を進めています。東日本大震災やこれから起きる可能性が高い首都直下地震への対策として考えると、耐震化工事に40億円かけて令和18年までしか現庁舎が使えないというのは短く感じますが、移転はいい考えだと思います。

地下鉄南北線、埼玉高速鉄道の岩槻延伸に関連して、快速運転をした状態で蓮田に延伸することについては、確かに利用の便はいいのですが、埼玉スタジアム2002の真下につくる駅を臨時駅にするという情報がありまして、臨時駅にするとなってしまうと、そこに住んでいる住民の方々の利便性が少なくなってしまうのではないかと思います。今、岩槻から浦和美園までをバスが走っていますが、地下鉄であれば災害にも強いですし、目白大学の真下につくるのだとすると、そこに行く大学生たちの通学利用も増えますので、埼玉高速鉄道の利益も増えるのではないかと思います。

### <発言12>

現庁舎地の利活用について、私は市役所に行ったことがないので、広さや大きさはよくわからないのですが、庁舎なので大きい施設だと思うので、災害が起きた際にちゃんと避難できる場所として体育館のようなものをつくるとよいと思います。災害時以外にも、大人も子どもも体育館でスポーツなどいろいろなことができるし、避難訓練もこの場所で行えばいろいろな方にここは避難できる場所だということを知ってもらえると思います。大きい施設だからこそ、みんなで避難できる場所として、体育館みたいなものをつくってもいいのではないかなと思いました。

また、子どもの支援センターもそこにつくってもいいのではないかなと思いました。

### <発言13>

この新庁舎建設事業に関して、これだけ皆さんが御意見くださっているのですが、もう少しいろいろ市民の意見を取り入れたらいかがでしょうか。多分、市長の公約で10年後の市役所移転といっているのですが、このように進んでいると認識しています。一番問題なのは、合併や庁舎を移転するということについて、特に浦和の方にはいろいろ思いがあるということだと思います。

したがって、都市経営戦略部の皆さん方がもう少し慎重に丁寧に現場のお話を聞かれたらいいかなと思います。慌ててやっても、結局は遺恨が残りますので、是非とも浦和の人の話を聞いていただいて、さらには議員とももう少し詰めた方がいいと思います。

### <発言14>

地下鉄の延伸はすぐやってくださいという話と、市長は外堀を埋められているという話を以前新聞で読みましたが、その辺は岩槻の方はどう考えていらっしゃるのかなと思って、今日岩槻まで来ました。

地下鉄が後回しにされて市役所移転が先になるというのは、どう考えても不思議でなりません。市役所は200億円をかけて、ただ外見がきれいになるだけです。地下鉄は岩槻のまちの発展のためになるのです。

それから重大な問題は、移転予定地は、三菱マテリアルの原子力研究所だったということです。放射性廃棄物が埋まっているのです。あそこは豊洲と同じ問題が必ず起きますよ。豊洲はその後の整備に500何億かかっているのです。

それから、あの先には処刑場があったのです。お地藏さんも建っています。非常に縁起が悪い場所なのです。

この間、隈研吾さんの話を聞きましたが、4市のキャラがあって初めていいのです。立派な建物だとかそういうことではなくて、4つのまちの歴史や築かれた文化を大切にこそ、初めて文化が続くのです。さいたま市民憲章でうたっています、歴史と文化を受け継いで、手を取り合ってこれからやっていきましょうと。市長の今の意見でいくと、地下鉄をつくるのではなくて、移転をしようと言っているのです。

さいたま市長選挙のときの出口調査によると、43%が反対、賛成は28%でした。それなのに無理してやることはないと思います。

### <発言15>

シニアサポートセンターで生活支援コーディネーターというものをやっているのですが、私の担当している地域には、バスも走ってないところがあります。交通網が非常に貧しくて、警察から免許証を返納してくれと言われても、免許証を返すと移動難民、買物難民、病院にも行けないということになってしまいます。タクシー代も非常に高く、そういうところが今、岩槻の南部の方に存在しています。多分見沼区の膝子辺りもそうなのではないかと思います。そういうところにも目を向けていただいて、移動に困っている人を救って

もらえるような形にしていなければなと思っています。

#### ◆市長

##### >>発言7・14

基本的には、移転反対だという御意見でした。先ほども申し上げましたとおり、庁舎の耐震化の工事と老朽化の工事というのは違います。耐震化は柱を建てたり倒れないようにしていく工事として、庁舎には職員もいますし、浦和区役所もあることで市民の皆さんにも利用していただいている場所になりますから、一日も早く安全を確保しなければならないということで、耐震化の工事をまず真っ先にやらせていただきました。

三菱マテリアルの原子力研究所のお話が出ましたが、現在は三菱マテリアルの建物の地下にしっかりと保管をされておりまして、定期的にさいたま市の環境局も漏れがないかどうか等々についてはチェックをして、モニタリングをしていますので、その部分についての心配はないと思っています。跡地の一角には既にマンションなどもできていますし、その辺については問題はないと私たちとしては認識をしているところです。

いずれにしても、歴史と文化を大切にしながら私たちもまちづくりをしていきたい。4つの旧市がありますが、今は10区のそれぞれ地域の特性があります。それらを生かしながら、全体としてさいたま市のよさを引き出せるようなまちづくりをしていきたいと思えます。

また、出口調査のお話が出ましたが、これは民間の新聞社の方の調査のデータだと思えます。NHKについては、これが逆の数字でありました。出口調査でもいろいろな御意見があるということは、十分私たちも承知をしています。その中で、市民の皆さんに御理解をいただきながら進めていきたいと考えています。

##### >>発言8

新庁舎に移すことについては賛成だが、国際会議などを開催する場がないので、そういった機能も必要ではないかというような御意見を頂戴しました。

また、地方を活性化するためということで、地下鉄7号線のお話も出ました。先ほども申し上げましたが、2都心4副都心ということで、岩槻と浦和美園はまさにその副都心の一つです。地下鉄7号線の延伸も、しっかりやっていますが、全てのことが一遍にできるわけではなく、1個ずつプロセスを積み重ねながらやっていかなければなりません。地下鉄7号線の延伸については検討段階から実行段階に入っていますので、しっかり進めていきたいと思えます。

それから、高齢化の時代への対応についてもお話がありました。健康ダンスも含めて、健康で長生きができることはすごく重要だと思えます。また、岩槻の中間駅エリアのまちづくりについては、今ちょうど調査研究をしているところです。地下鉄7号線の延伸が目的なのではなく、延伸とまちづくりはセットだと思えますので、大体どのぐらいの規模でやるか、どういったまちにするかということについては、またしっかり発表させていただきたいと思えます。

##### >>発言9

2都心4副都心という考え方については賛成だという御意見をいただきました。また、市庁舎には新交通システムの導入なども検討すべきではないかというお話がありました。

さいたま市としても、地下鉄7号線の延伸の問題と、もう一つは、東西交通大宮ルートとあって、大宮新都心経由で美園の方につなげていくという、LRTを含めた新交通システムでそれをつなげていく案もあります。これは、地下鉄7号線の延伸と同じような位置づけになっていますので、併せて検討していきたいと思っています。

さいたま市はどうしても東京の方に向かって交通網を置いていますので、この4つの副都心とのネットワークを強化し、市内の交通体系をしっかりしていくということが、この



133万人の人口の力を発揮するためにも非常に重要なことだと考えています。

### >> 発言 10

新庁舎整備をした場合には、災害時に備えバスだけではなくて、レンタサイクルとかいろいろな交通網で帰宅ができるようにしたらどうかという御提案をいただきました。

私たちは今、シェア型マルチモビリティという実証実験をしています。これは、自転車、スクーター、小型の電気自動車を活用し、新都心を中心に行っています。また、岩槻や美園ではAIを使ったデマンド型の交通網の実証実験をやらせていただいています。移動ができるということは、社会に参加するということと同じ意味になると思いますので、高齢化時代の中で、移動しやすい環境をつくっていくということがすごく重要だと思っています。ですので、災害のときはもちろんですが、高齢者の方も、子育て中の方も、障害者の方も移動しやすい環境をつくっていくために、Maasという言い方をしますが、そういったいろいろな交通手段をシームレスにつなげていき、できるだけ安い費用で移動手段を確保できるようにしていきたいと思い、今いろいろな実証実験を始めているところです。

それから、現庁舎地については、防災拠点として活用したらどうかという御意見を頂戴しました。

### >> 発言 11

移転については、災害対策という部分を考えてよいのではないかという御意見を頂戴しました。

また地下鉄7号線について、スタジアムについては、臨時駅にするという考え方もなくはありませんが、今検討しているのは臨時駅だけではなくて、停まることを前提とした常設駅の検討も進めているという状況です。まだ正式決定したわけではありませんが、私たちとしても中間駅のまちづくりもしっかりやっていくことを前提にして、調査をしながら進めているという状況です。採算性については、以前と比べるとずっと上がってきたと認識もしていますし、タイミングとしては非常にいい時期になってきたのではないかと考えています。

### >> 発言 12

現庁舎に行ったことはないが、災害の際に避難できる場所にしてはどうか、子どもの支援センターのようなものもあつたらいいのではないかと御意見を頂戴しました。

現庁舎地は多世代が使えるような場所として私どもも検討していきたいと思ひますし、災害対応についても、十分配慮していく必要があるのではないかと御意見を頂戴しました。

### >> 発言 13

庁舎移転を進めていくにはできるだけ慎重に、また地域の声にもしっかりと耳を傾けながらやっていくべきだという御意見を頂戴しました。私どももそのつもりでいますし、タウンミーティングもその一つだと思っています。昨日も、浦和区で実施しました。旧浦和市の南区、緑区、桜区でも実施をしてきました。

もちろんタウンミーティングだけではなくありません。ワークショップもやりましたし、今パブリック・コメントも実施していますが、パブリック・コメントはできるだけ多くの皆さんから御意見をいただこうと思ひておひまして、通常の期間より長めに、しっかりと期間を取って呼びかけをさせていただいているところです。しっかりと市民の皆さんの声を聞きながら進めていきたいと思ひます。

今年はちょうど合併して20年という、節目の年だと思っています。非常に多くの先人の皆さんが御苦労されて合併されたわけですが、この20年間は、さいたま市のそれぞれの問題を解決しようということで、旧4市、また10区の皆さんと一緒に汗をかいて一生懸命頑張ってきたくださった歴史だと思っています。おかげさまで、今さいたま市は住みやすい

と言っている市民の割合も85%を超えました。それは、行政がよかったわけではありません。地域の市民の皆さんが一生懸命住みやすいまちをつくらうということで頑張ってくれた成果、事業者の皆さんが地域のために、市民のためにいろいろ協力をしてくれた成果だと思っています。この20年間、私たちはこの庁舎移転の問題について丁寧にやってきたつもりでいます。審議会についても、審議する期間が長過ぎるのではないかととも言われましたが、約6年間審議をして、そして答申に結びつけています。

私たちとしては、市民の皆さんの声をしっかり聞きながらやっていきたいと思っています。賛成の方、反対の方、いろいろな御意見はあると思いますが、できるだけそういったことも踏まえながら、私たちとしては進めていきたいと思っています。

あまり性急に進めるつもりはありませんが、しっかりスケジュールを立ててやらないと、結果的にはコストもかかるということにもなりますし、タイミングを失ってしまうということにもなりかねませんので、そういったことを踏まえながらやっていきたいと考えています。

今日も若い年代の皆さんから高齢の先輩方までたくさんの皆さんに御参加をいただいて、このタウンミーティングを開催することができました。先ほど開催時間が夜になったということで御意見頂戴しましたが、その辺についてはおわびを申し上げたいと思います。皆さんには、平日の大変お疲れの中、御参加をいただいて、皆様のいろいろな御意見頂戴できたこと、本当にありがたく思っています。私たちも皆さんからいただいた一人ひとりの御意見をしっかりと受け止めながら、よりいいものにしていきたい、いい形にしていきたいと思っています。

今日は長時間にわたりまして御協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

なお、パブリック・コメントがまだ続いています。今日この場で意見が十分に言えなかったという方がいらっしゃれば、パブリック・コメントの方に御意見をお寄せいただくこともできますので、そちらの方にも御意見を頂戴できればと思っています。どうもありがとうございました。

## ■ 補足説明

### 「東日本大震災後の帰宅困難者対策」について

東日本大震災を教訓に、帰宅困難者対策として、大地震などの災害発生時にむやみに移動を開始しないという一斉帰宅の抑制について周知するとともに、買い物や通勤・通学の途中等により市内で帰宅困難となった方々を一時的に受け入れる一時滞在施設の確保などを行っています。

(総務局 危機管理部 防災課)

### 「高齢者の健康づくり」について

さいたま市では長寿応援ポイント事業など高齢者の健康づくりに関する施策に取り組んでいます。

(保健福祉局 長寿応援部 高齢福祉課)

### 「地下鉄7号線延伸の取組」について

地下鉄7号線の延伸については、令和5年度に鉄道事業者に対する事業の実施要請を行い、令和6年度に鉄道事業者が国への申請手続きに入ることを目標として、取組を進めてまいります。

(都市戦略本部 未来都市推進部)

### 「シェア型マルチモビリティの実証実験」について

シェア型マルチモビリティの実証実験は、大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区において令和3年3月より開始したところであり、他のエリアへも順次拡大を行っているところです。

(都市局 都市計画部 都市総務課)

「交通網が貧しい地域への対応」について

本市では、地域生活に役立ち、利用され続ける公共交通にするため、検討はコミュニティバス等の導入や運行改善が必要と考える地域の方々が中心となって取り組んでいただくこととしており、市はその活動の技術的な支援を行っております。

コミュニティバスや乗合タクシーの新規導入にあたっては、「コミュニティバス等導入ガイドライン」に基づき、検討対象地域であること、コンセプトに合致するものであること等を確認する必要があります。

新規導入をご検討される場合は交通政策課にご相談ください。

(都市局 都市計画部 交通政策課)

福祉部局においては、高齢者等の移動支援事業として、高齢者等が日常生活を送る上で必要な買い物や通院等の外出時の移動を支援する、地域住民や社会福祉法人等が主体となった活動を支援しております。市内全域を対象としたものですので、実施を検討される場合は、市にご相談ください。

(保健福祉局 長寿応援部 高齢福祉課)